

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活環境部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 7月

令和5年7月1日の推計人口 1,269,079人  
世帯数 558,429世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

#### 1 推計人口

令和5年7月1日現在の推計人口は、1,269,079人で、前月(1,270,033)に比べ954人の減少となった。

市部では、大村市(25)、西海市(6)、松浦市(1)の3市で増加し、長崎市(417)、佐世保市(287)、南島原市(70)、雲仙市(61)、対馬市(35)、平戸市(34)、壱岐市(34)、諫早市(31)、島原市(25)、五島市(9)の10市で減少した。

郡部では、時津町(74)、波佐見町(12)、小値賀町(2)の3町で増加し、長与町(49)、佐々町(13)、新上五島町(5)、東彼杵町(4)の4町で減少した。川棚町は増減がなかった。

自然動態は、出生数623人、死亡数1,464人で841人の減少、社会動態は、転入者数2,758人(県内転入を含む)、転出者2,871人(県内転出を含む)で、113人の減少となった。

#### 2 世帯数

令和5年7月1日現在の世帯数は、558,429世帯で前月(558,471)に比べ42世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 5月

1人当たり現金給与総額 272,115円  
対前月比 3.7%増加  
対前年同月比 9.0%増加

#### 1 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は272,115円で、前月に比べ3.7%増加し、前年同月に比べ9.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,634円で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ0.5%減少した。

特別給与額は27,481円で、前年同月に比べ、23,783円増加した。

#### 2 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は144.0時間で、前月に比べ3.1%減少し、前年同月に比べ1.0%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は132.9時間で前月に比べ2.9%減少し、前年同月と比べ、1.6%増加した。

所定外労働時間数は11.1時間で、前月に比べ4.3%減少し、前年同月に比べ4.3%減少した。

#### 3 雇用

5月の常用労働者数は210,989人で、前月に比べ、0.6%増加し、前年同月に比べ0.5%減少した。

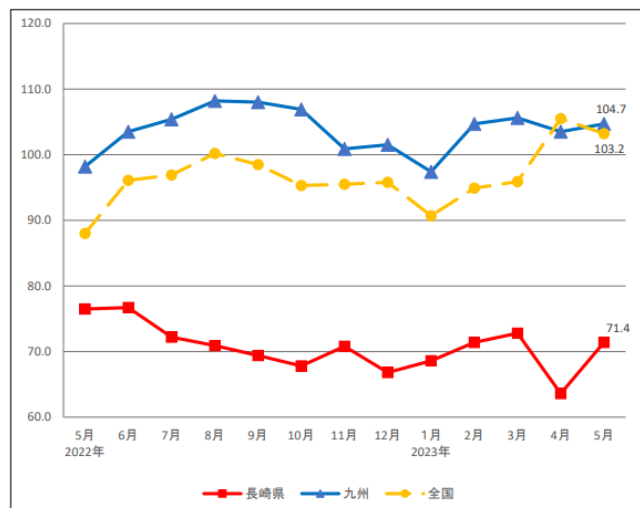
【鉦工業生産指数】…………… 5月

令和5年5月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	71.4	12.3	65.0	9.7
九州	104.7	0.8	94.7	8.4
全国	103.2	2.2	96.7	4.2

鉦工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年5月の鉦工業生産指数は、季節調整指数が71.4で対前月比は12.3%の増、原指数は65.0で対前年同月比は9.7%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品デバイス工業、窯業・土石製品工業など10業種が上昇し、はん用・生産用機械工業など3業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	80.9	交流発電機
電子部品・デバイス工業	32.9	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	12.2	生コンクリート

主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	9.5	クレーン

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 6月

総合指数(R2=100) 104.8

対前月比 (%) 0.3

対前年同月比 (%) +2.9

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、104.8である。

前月比 0.3%で、主な上昇要因は「家具・家事用品」の+1.0%、「諸雑費」の+0.5%であり、主な下落要因は「食料」の 0.6%、「教養・娯楽」の 1.5%である。

前年同月比は、2月は+3.1%、3月は+3.2%、4月は+3.1%、5月は+3.2%と推移した後、6月は+2.9%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は104.7で前月比0.0%であり、前年同月比は+3.1%であった。

(前月との比較)

上昇した費目		
家具・家事用品		1.0 %
諸雑費		0.5 %
被服及び履物		0.6 %
住居		0.1 %

同水準の費目		
教育		±0.0 %

下落した費目		
交通・通信		0.2 %
保健医療		0.4 %
光熱・水道		1.0 %
教養娯楽		1.5 %
食料		0.6 %

上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 6月

消費支出(一世帯当たり) 255,966円

前月比 64,060円減 (20.0%減)

令和5年6月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は255,966円で、前月比20.0%の減、前年同月比は20.9%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は41.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。